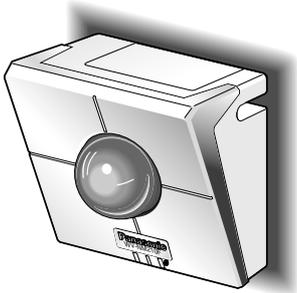


Panasonic

取扱説明書 基本編

工事説明付き



ネットワークカメラ

品番 WV-NM210F

基本編

上手に使って上手に節電

保証書別添付

- このたびは、ネットワークカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(8~10ページ)はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
 - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

1 商品概要

はじめに

本機ネットワークカメラWV-NM210Fはカード型FOMA端末（FOMA P2402）（以下、カード型FOMA）を差し込むことによって、FOMA端末から本機の映像と音声を確認し、本機を操作・設定できるネットワークカメラです。

FOMA端末から操作できる！

本機にカード型FOMAを差し込むことにより、FOMA端末から本機の映像と音声を確認したり、本機の操作や設定ができます。

iモード端末から操作できる！

本機をインターネットに接続することにより、iモード端末から本機の画像を確認したり、本機の操作や設定ができます。

PCのウェブブラウザから操作できる！

本機をネットワークに接続することにより、PCから本機の画像を確認したり、本機の操作や設定ができます。

本機へのアクセスを制限できる！

本機に接続させたいFOMA端末の電話番号や名前、アクセスレベルをあらかじめ登録しておくこと、登録されている番号以外からの着信を拒否できます。

また、ユーザー名とパスワードをあらかじめ登録しておくことによって、iモード端末やPCからアクセスできるユーザーを制限することができます。

付属品をご確認ください

本機を使用する前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。

万一、不足している物がありましたら、お手数ですが、お買い上げの販売店にご連絡ください。

取扱説明書 基本編（本書）	1
CD-ROM	1
ラベル（MACアドレス）	1
保証書	1

以下の付属品は取付工事に使用します。

ACアダプター	1
ウォールマウント	1
取付ねじ	2
コードカバー取付ねじ	2

本書について

本書は以下のように構成されています。

FOMA端末およびカード型FOMAの操作方法およびご使用上の注意点につきましては、基本編と応用編の取扱説明書をお読みください。

はじめに

本機の概要と取り扱い上の注意など、本機を操作するまでに必要な事項を説明しています。操作を始める前に必ずお読みください。

設置

カード型FOMAの取り付けかたや、本機の設置のしかたについて説明しています。

設定・操作

本機のスイッチから本機の設定を行う方法とFOMA端末から本機を操作する場合の操作方法を説明しています。FOMA端末から本機の映像を見る場合は、「映像を確認する」をお読みください。

その他

FOMA端末のDTMF機能を使って操作できる内容の一覧やトラブルシューティングを記載しています。必要に応じてお読みください。

1 必要な動作環境

本機を利用するには、カード型FOMA (P2402) をCFカードスロットに差し込む必要があります。(→14ページ) FOMA端末およびiモード端末の対応機種はホームページを参照してください。ホームページのアドレスは付属CD-ROM内のReadmeをお読みください。

また、本機の設定には、以下のシステム環境を持つPCが必要です。

対応OS	: Microsoft® Windows® 2000、Windows® XP
コンピューター	: PC/AT互換機
CPU	: Pentium® 4 (2.4 GHz) 以上推奨
メモリ	: 512 MB以上
インターフェース	: 10/100 MbpsのEthernetカードが内蔵されていること
ウェブブラウザ	: Microsoft® Internet Explorer 6.0SP2
CD-ROMドライブ	: CD-ROM内の取扱説明書を参照するために必要
Adobe® Reader®	: CD-ROM内の取扱説明書を参照するために必要

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows XPは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、インテル、Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- 「FOMA/フォーマ」「i-mode」ロゴは、NTTドコモの登録商標です。
- 「FOMA」ロゴ「iモード」は、NTTドコモの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

- 本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4 日本語版をWindows 2000と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP Professional SP2 日本語版をWindows XPと表記しています。

免責について

この製品は、盗難などを未然に防止するものではありません。
製品の仕様はお断りなく変更になる場合があります。

●携帯電話／カード型FOMAの料金について

本機を利用するには、使用するカード型FOMAの契約に応じた月額基本使用料および通信時間に応じた通信料などが必要となります。

●通信料について

- ・本機では通信（映像表示）時に通信時間に応じて課金されるデジタル通信料が適用されます。
- ・FOMA端末より本機にテレビ電話をかけた場合は、FOMA端末に通信料が発生します。また、本機のアラーム発信機能を使ってFOMA端末にテレビ電話をかけた場合は、本機に装着しているカード型FOMAに通信料が発生します。

●本機の設置場所について

本機に装着するカード型FOMAは無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない場所、電波の弱い場所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。

●本機の機能について

FOMA網側の状態や規定により、アラーム発信時に接続ができない場合があります。
本機は、何らかの原因で異常を検出すると自動的に再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約1分間操作できません。また、再起動後は、カメラ内部に保存されたアラーム画像、アラーム履歴、エラーログが消失してしまいます。

●本機の利用について

本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律、条令（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

本機を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

●カード型FOMAについて

カード型FOMAをご使用の際は、カード型FOMAの取扱い上の注意をご確認ください。

●カード型FOMA（または本機）の盗難について

カード型FOMAまたは本機の盗難については、お客様ご自身で管理くださるようお願い致します。万が一、盗難にあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●登録した情報内容について

本機に登録した情報内容は、メモをとるなどして保管してください。万一、登録した情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

もくじ

1

はじめに

1

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
本書について	3
必要な動作環境	4
商標および登録商標について	4
著作権について	4
略称について	4
免責について	5
安全上のご注意.....	8
取り扱い上のご注意.....	11
各部の名前	12
アラーム端子・AUX出力端子について.....	13

設置

2

本機にカード型FOMA端末 (FOMA P2402) を取り付ける	14
本機を設置する	14

設定・操作

3

FOMA端末から操作する	16
準備する	16
映像を確認する	16
本機を制御する	17
映像の水平位置・垂直位置 (パン・チルト) を調節する	17
映像の明るさを調節する	18
映像の倍率を調節する	18
音声の通信モードを切り替える	19
本機のマイク音量を調節する	20
TV電話の画質を設定する	20
本機のスイッチから設定する	21
電話番号を登録する	21
初期化する	22

4
その他

DTMF一覧23
故障かな!?!25
携帯用DTMF一覧.....29
保証とアフターサービス31

安全上のご注意

必ずお守りください

1

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

は
じ
め
に

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちにACアダプターを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

故障したり、火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

本機およびACアダプターをぬらさない



水ぬれ禁止

近くに、花瓶、コップなどを置かないでください。発火、感電の原因になります。

- ただちにACアダプターを抜いて、販売店にご連絡ください。

本機やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちにACアダプターを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

⚠ 警告

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

ACアダプターのプラグほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

専用のACアダプター（極性統一型プラグ）以外は使用しない



禁止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

雷のときは工事配線しない



禁止

火災や感電の原因になります。

ACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持つ



感電の原因になります。

火気を近づけない



火気禁止

火災の原因になることがあります。

屋内用を屋外に設置しない



禁止

屋内用機器を屋外に設置すると、雨などで取り付け部が劣化し、落下などの事故の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

1

⚠ 注意

はじめに

可燃性雰囲気中で使用しない



禁止

爆発し、けがの原因になります。

振動や強い衝撃を与えない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない



水場使用禁止

故障や感電、ショートの原因になります。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。

- 点検は販売店に依頼してください。

長時間使用しないときやお手入れするときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く



漏電・感電の原因になることがあります。

本機を壁などに取り付けて使用するときには、堅固・確実に取り付ける



落下によりけがの原因になることがあります。

取り扱い上のご注意

⚠ 警告、**⚠ 注意** に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

使用電源は付属の専用ACアダプターを使用する

ACアダプターの電源はAC100 V (50/60 Hz) です。また、消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じACコンセントからは電源をとらないでください。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります（推奨温度40℃以下）。設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 周囲温度0℃～+40℃、湿度は90%以下の場所でお使いください。（常時通電状態でお使いになる場合）
- カード型FOMA装着時は、カード型FOMAの環境条件でお使いください。

本機は通電状態でご使用いただくことを基本としています

寒い環境で電源を入れた場合、安定動作するまで数分間かかることがあります。

ドームカバーに直接触れないでください

カバーが汚れると画質劣化の原因となります。本機を移動するときは側面をお持ちください。

ドームカバーに強い衝撃を与えないでください

破損、浸水の原因となります。

強い光に本機を向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。

取り扱いはいねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

屋内でのみ使用してください

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。

変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

CCD色フィルターの焼き付きについて

画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分に変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

瞬時電圧低下について

本機は、落雷等による電源の瞬時電圧低下の際に不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策として、交流無停電電源装置等のご使用をお勧めします。

内蔵バックアップ電池について

初めて使用するときは48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。

お手入れは

お手入れは電源を切って行ってください。けがの原因になります。

ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

汚れがひどいときは

うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

きれいな画面を見るためには

1か月に一度程度、ドームカバーを清掃すると、きれいな画面を見ることができます。

使用するパソコンについて

パソコンのモニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。スクリーンセーバーの使用をおすすめします。

ブロードバンドルーターについて

本機をインターネットに接続する場合で、ルーターを使用するときは、ポートフォワーディング機能（NAT、IPマスカレード）付きのブロードバンドルーターをご使用ください。

異常検出時、自動的に再起動を行います

本機は、何らかの原因で異常を検出すると自動的に再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約1分間操作できません。

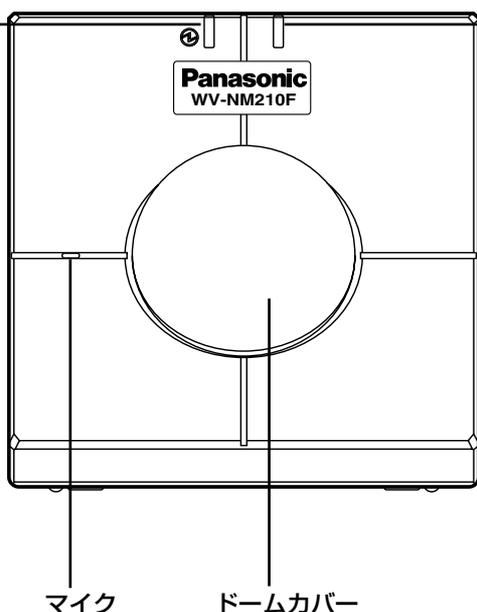
各部の名前

1 前面

は
じ
め
に

パワーLED

システム設定ページの[基本設定]タブでLED表示の点灯/全消灯を設定できます。設定のしかたは、WV-NM210F取扱説明書 応用編(PDFファイル)をお読みください。
点灯設定時、本LEDは本機のアクセスが行われているとき点滅します。



状態表示LED

システム設定ページの[基本設定]タブでLED表示の点灯/全消灯を設定できます。設定のしかたは、WV-NM210F取扱説明書 応用編(PDFファイル)をお読みください。
点灯設定時、音声ありの場合やエラー発生時、ファームウェアのバージョンアップ時に本LEDが点灯または点滅します。

オレンジ点灯：マイクモード
(FOMA端末←本機)
双方向モード
(FOMA端末↔本機)

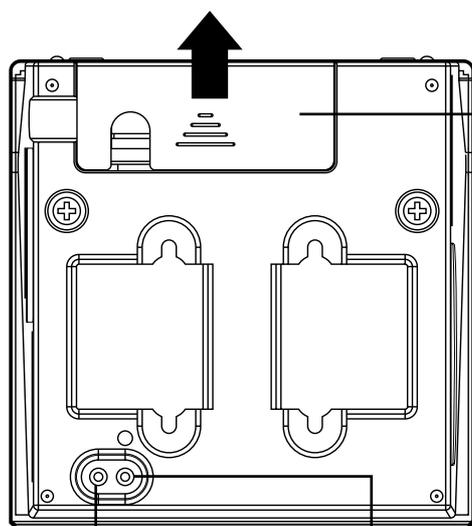
オレンジ点滅：スピーカーモード
(FOMA端末→本機)

消灯：音声なし

赤点灯：エラー時、カード型FOMAが取り付けられていないとき

赤点滅：バージョンアップ中

後面



電話番号登録スイッチ

スイッチを長押し(約3秒)すると、通信中のFOMA端末の電話番号が本機に登録されます。(→21ページ)

初期化スイッチ

スイッチを押しながらACアダプターをコンセントに差し込み、そのままスイッチを5秒以上押し続け、その後スイッチを離れた状態で通電したまま放置してください。本機のパン/チルト動作が完全に終了した段階で、設定メニューの設定内容、HTMLデータ、ネットワーク設定の初期化が完了します。初期化には約1分かかります。(→22ページ)

アラーム端子

電源プラグ入力(付属の専用ACアダプターを使用してください)

Ethernetコネクター

リンクLED

接続機器と通信が可能になると点灯します。

アクセスLED

ネットワークにアクセスしているときに点灯します。

【コードカバー内部】

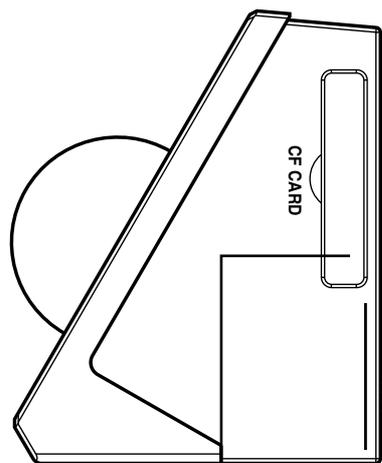
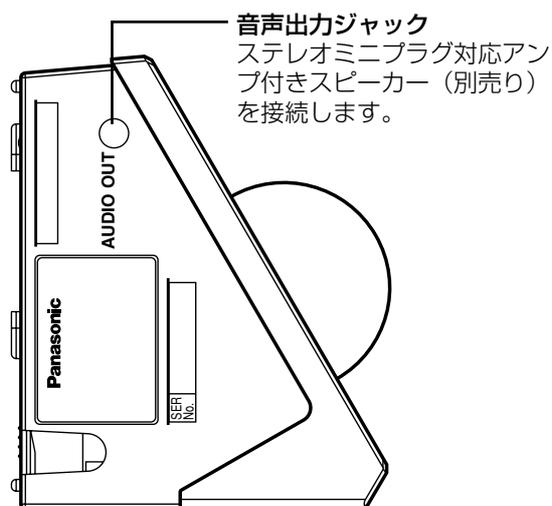
コードカバー

外すときは、部を内側に押し付けながら矢印方向にスライドしてください。

重要!

ACアダプターは、本機電源プラグ入力部および電源コンセントにしっかりと差し込んでください。

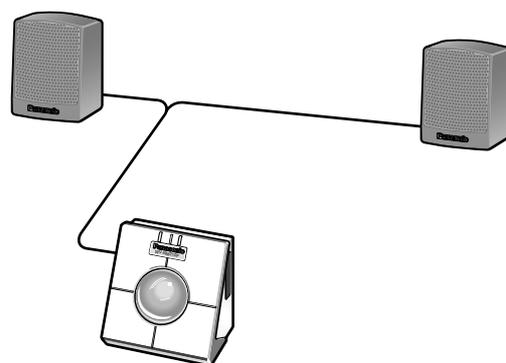
側面



カードキャップ
カードキャップを開いて、CFカードスロットにカード型FOMAを差し込みます。
(→14ページ)

重要！

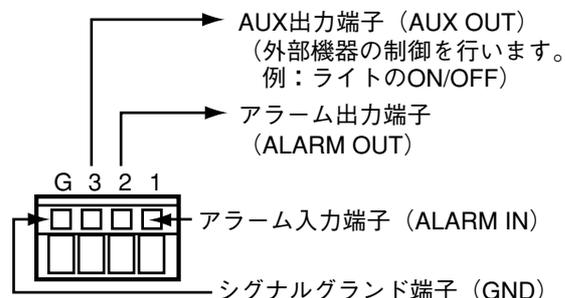
本機にステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカーを接続する場合は、本機とスピーカーを離して設置してください。



アラーム端子・AUX出力端子について

コードカバー内部のアラーム端子に外部機器を接続すると、本機に以下のような動作を行わせることができます。

- アラーム入力端子にセンサーなどの外部機器を接続すると、接続した外部機器が動作したとき、アラーム動作を行います。
- アラーム出力端子に外部機器を接続すると、アラームが発生したとき、アラーム信号を出力します。
- AUX出力端子に外部機器を接続すると、外部機器を制御できます。



重要！

外部機器接続時は、本機の定格を超えないように注意してください。

設置

2

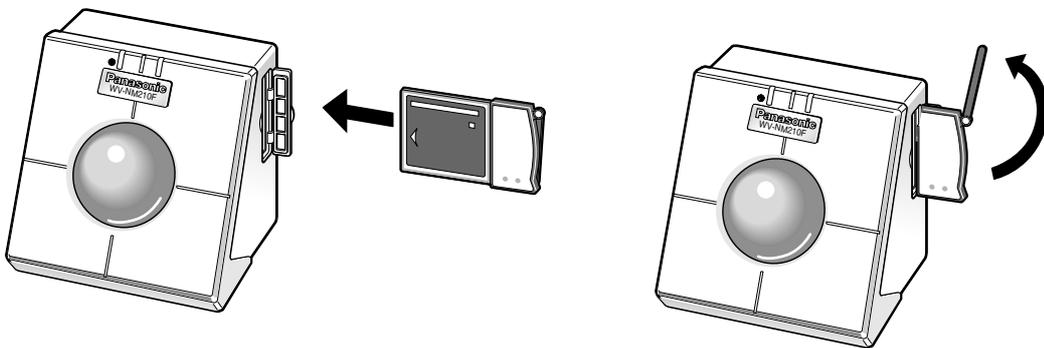
PC、iモード端末から本機を操作する際、本機にACアダプターとEthernetケーブル（カテゴリ5）を接続してください。その後、コードカバーをスライドして取り付けます。コードカバーが外れるのを防止するために、付属のコードカバー取付ねじ（2本）で締め付けてください。

FOMA端末で本機の映像を見るには、カード型FOMAを本機に差し込み、本機を設置する必要があります。

本機にカード型FOMA端末（FOMA P2402）を取り付ける

イラストのように、本機の側面にあるCFカードスロットにカード型FOMAを差し込みます。カード型FOMAは、下図のように差し込んでください。

差し込んだら、カード型FOMAのアンテナを立てます。



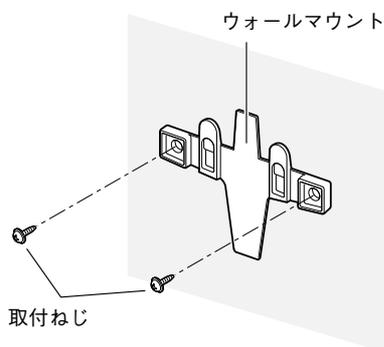
重要！

- カード型FOMAが通信中のときは、絶対にカード型FOMAを抜かないでください。本機およびカード型FOMAが故障する恐れがあります。
- 必ず、本機の電源がOFFであることを確認してからカード型FOMAを差し込んでください。

本機を設置する

本機は壁に設置したり、卓上に置いて使用したりすることができます。

ここでは、壁面への取り付けを例に説明します。

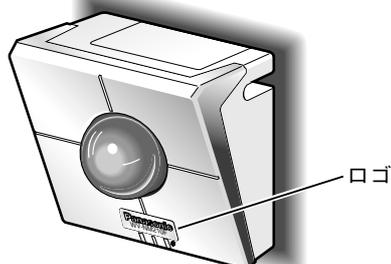
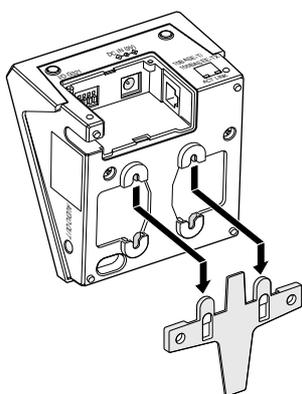


STEP1

取付ねじで壁面にウォールマウントを取り付けます。

補足

ウォールマウントを取り付ける際、本機から突出するカード型FOMAの長さ（アンテナを含む）を考慮して、取付位置を決めてください。

**STEP2**

左図のイラストを参照して、ウォールマウントに本機を取り付けます。

本機は上下の向きを変えても取り付けることができます。撮影したい場所に応じて、本機の上下の向きを変えてください。

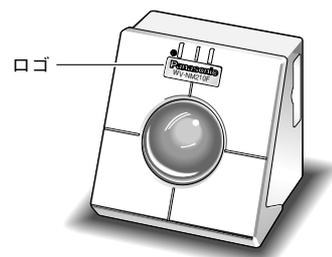
STEP3

Panasonicロゴの向きが正しく向いているかを確認します。

向きが逆になっている場合は、回転してロゴの向きを合わせます。

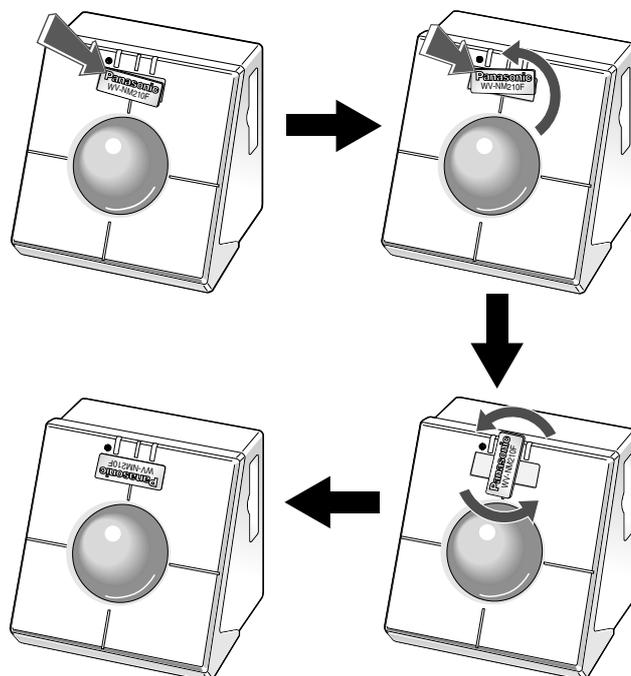
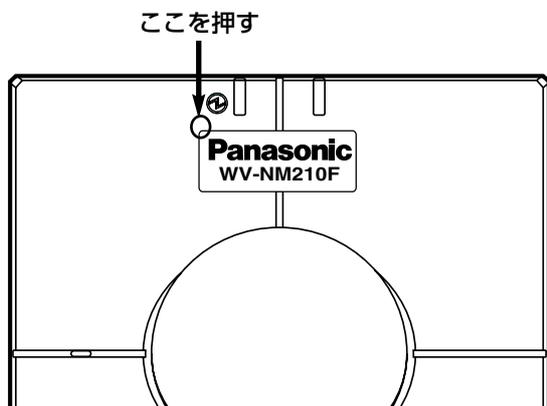
補足

卓上に置いて右のイラストの向きで本機を使用する場合は、システム設定ページの「基本設定」タブにある「設置状態」を「卓上」に設定してください。また、Panasonicロゴの向きを確認してください。本機の設置状態は、FOMA端末、iモード端末でも設定できます。詳しくは、WV-NM210F取扱説明書 応用編（PDFファイル）をお読みください。

**<ロゴを回転する方法>**

- ロゴは、角を押して反対側の端を浮かせ、反時計回りに回転させると向きを変えることができます。

※必要以上に力を加えないでください。
ロゴが外れた場合、押し込んで取り付けてください。



FOMA端末から操作する

FOMA端末で本機の映像を見る方法と、FOMA端末から本機を制御する操作方法について説明します。

重要！

- 本機をご使用になる前にカード型FOMAを取り付ける必要があります。取り付けかたは14ページをお読みください。
- TV電話通信中は、本機とiモードとの通信、ライブページの表示、FTP送信ができません。これらの操作を行うときは、TV電話を切断してください。

3

設定・操作

準備する

映像を確認する前に、本機の電源を入れ、パワーLEDと状態表示LEDが正しく点灯していることを確認してください。

STEP1

ACアダプターをコンセントに差し込みます。

STEP2

パワーLEDが緑に点灯し、状態表示LEDが赤に点灯していることを確認します。

STEP3

パン／チルト動作が完了し、状態表示LEDが赤に点灯していないことを確認します。
→本機の操作ができるようになります。

映像を確認する

FOMA端末から本機の映像を確認します。

STEP1

FOMA端末から本機に装着されたカード型FOMAの電話番号にTV電話発信します。TV電話発信の方法は、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。電話番号の確認方法はカード型FOMAの取扱説明書に記載されています。
→本機に接続し、FOMA端末でカメラ映像と音声を確認できます。

補足

本機にステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカー（別売り）を接続し、音声をマイクモードからスピーカーモードまたは双方向モードに切り替える（→19ページ）と、FOMA端末からの音声を本機と接続したスピーカーから聞くことができます。

本機を制御する

本機のライブ映像を表示中に、DTMF信号（プッシュ信号）を使って本機を操作できます。

重要！

- 着信制限が「ON」のときは、アクセスレベルが「2.カメラ制御」以上に設定されている電話番号のFOMA端末からのみ本機を制御することができます。着信制限が「OFF」のときは、電話番号を登録していないFOMA端末からも本機を制御することができます。アクセスレベルについては、WV-NM210F取扱説明書 応用編（PDFファイル）の78ページをお読みください。
- FOMA端末または本機の周辺が騒がしい場合や電波の弱い場所では、DTMF信号で本機の制御ができないことがあります。
- FOMA端末側でハンズフリーを設定すると、DTMF操作ができなくなる場合があります。

補足

以下の操作は、DTMF送信の手順です。詳しくはFOMA端末の取扱説明書をお読みください。ここでは、P900iを例に説明しています。

映像の水平位置・垂直位置（パン・チルト）を調節する

カメラ映像の水平位置、垂直位置を調節します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、本機カメラの向きを移動します。

右に移動： [6] → ([1] ~ [9]) → [#]

左に移動： [4] → ([1] ~ [9]) → [#]

上に移動： [2] → ([1] ~ [9]) → [#]

下に移動： [8] → ([1] ~ [9]) → [#]

([1] ~ [9]) はステップ数を表します。押した数字ボタンのステップ分移動します。例えば [6] → [2] → [#] を押すと、2ステップ右に移動します。

([1] ~ [9]) の手順は省略できます。

1ステップだけ移動する場合は、上下左右いずれかに移動するボタン（[6]、[4]、[2]、[8] ボタンのいずれか） → [#] で移動できます。ステップ数を指定する必要はありません。

<ワンタイムパン>

[1] → [0] → [#] を押すと、映像を左右に1往復ずつ動作させ、モニタリングすることができます。

FOMA端末から操作する（つづき）

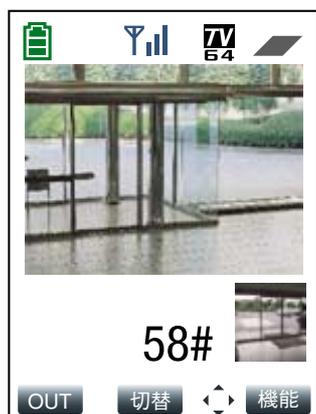
映像の明るさを調節する

カメラ映像の明るさを調節します。

3

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、明るさを調節します。

暗くする

： [5] → [8] → [#]

明るくする

： [5] → [2] → [#]

工場出荷時（「0」）の明るさにする

： [5] → [5] → [#]

設定・操作

映像の倍率を調節する

カメラ映像の倍率を調節します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、ズームを調節します。

拡大する : [3] → [2] → [#]

縮小する : [3] → [8] → [#]

等倍にする : [3] → [5] → [#]

音声の通信モードを切り替える

FOMA端末からの音声の通信モードを切り替えます。通信モードには、「スピーカーモード」、「マイクモード」、「双方向モード」の3つがあります。

- スピーカーモード : FOMA端末からの音声を本機に接続したスピーカーから聞くことができます。
- マイクモード : 本機からの音声をFOMA端末で聞くことができます。
- 双方向モード : FOMA端末と本機の間で音声のやりとりを行うことができます。

「スピーカーモード」、「双方向モード」に設定した場合は、ステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカー（別売り）との接続が必要です。

重要！

「音声モード」を「ON」に設定してください。「OFF」に設定していると、FOMA端末からの音声の操作は無効になります。工場出荷時は「ON」に設定されています。設定のしかたは、WV-NM210F取扱説明書 応用編 (PDFファイル) をお読みください。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。(→16ページ)



STEP1

数字ボタンを押して、音声の通信モードを切り替えます。

スピーカーモード : [0] → [3] → [#]

マイクモード : [0] → [1] → [#]

双方向モード : [0] → [5] → [#]

補足

「スピーカーモード」、「双方向モード」に設定しているときにDTMF操作を行うと、本機に接続されたスピーカーから操作音が聞こえます。

FOMA端末から操作する（つづき）

本機のマイク音量を調節する

本機のマイク音量を調節します。

重要！

マイク音量の調節は、「マイクモード」、「双方向モード」のときに有効になります。音声を「マイクモード」または「双方向モード」に切り替えてから操作してください。「スピーカーモード」のときは、マイク音量を調節しても無効になります。

3

設定・操作

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、音量を調節します。

音量をミュートする : [0] → [0] → [0] → [#]

ミュートを解除する : [0] → [0] → [1] → [#]

音量を大きくする : [0] → [2] → [#]

音量を小さくする : [0] → [8] → [#]

TV電話の画質を設定する

TV電話通信中にFOMA端末の画質設定機能を使ってTV電話中の画質を設定できます。

画質は、以下から選択できます。

標準 : 画質、動きを標準で表示します。

画質優先 : 画質を重視して表示します。

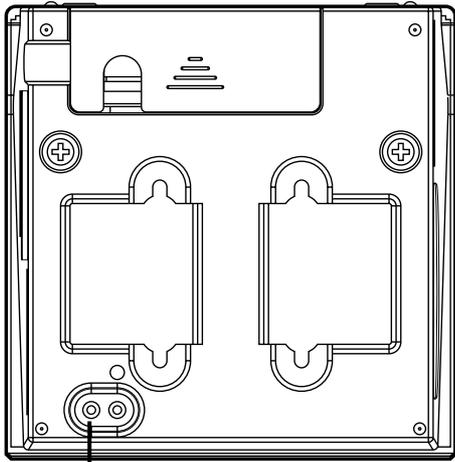
動き優先 : 動きを重視して表示します。

画質設定機能の設定方法について詳しくは、お使いのFOMA端末の取扱説明書をお読みください。

本機のスイッチから設定する

本機のスイッチを使って、通信中の電話番号をそのまま登録したり、本機の初期化を行うことができます。

電話番号を登録する



電話番号登録スイッチ

補足

電話番号登録スイッチで最大30件まで電話番号を登録できます。

電話番号を1件登録するごとに、着信制限が「ON」に設定されます。続けて電話番号を登録するときは、本機の着信制限を「OFF」に設定してから登録してください。設定のしかたはWV-NM210F取扱説明書 応用編（PDFファイル）をお読みください。

STEP1

FOMA端末の発信者番号通知を「通知する」に設定します。設定のしかたは、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。

STEP2

FOMA端末から本機に装着されたカード型FOMAの電話番号にTV電話発信します。

STEP3

通信中に電話番号登録スイッチを長押し（約3秒）します。

→以下の内容で本機に電話番号が登録されます。

名前 : 空欄

アクセスレベル : 1.管理者

アラーム自動発信先

: 第1優先 (第1優先に電話番号が登録されていない場合)

第2優先 (第1優先に電話番号が登録されていて、第2優先に電話番号が登録されていない場合)

登録しない (第1優先、第2優先両方に電話番号が登録されている場合)

着信制限 : ON

必要に応じて、[着信設定] タブ、[発信設定] タブで登録内容を変更してください。設定のしかたはWV-NM210F取扱説明書 応用編（PDFファイル）をお読みください。

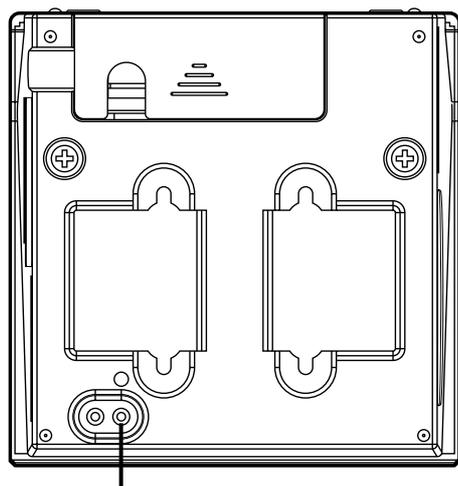
重要!

- 電話番号登録スイッチから登録すると、着信制限も同時に「ON」に設定されるので、登録されたFOMA端末の電話番号以外からの着信が拒否されます。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号であっても、電話番号が非通知の場合は着信が拒否されます。

初期化する

3

設定・操作



初期化スイッチ

STEP1

初期化スイッチを押しながらACアダプターをコンセントに差し込み、そのままスイッチを5秒以上押し続けます。

STEP2

初期化スイッチを離し、通電したまま放置します。
→本機のパン／チルト動作が完全に終了した段階で、設定メニューの設定内容、HTMLデータ、ネットワーク設定の初期化が完了します。初期化には約1分かかります。

DTMF一覧

■すべてのユーザーができる操作

重要!

着信制限が「ON」のときは、アクセスレベルが「2.カメラ制御」以上に設定されている電話番号のFOMA端末からのみ操作できます。着信制限が「OFF」のときは、電話番号を登録していないFOMA端末からも本機を操作できます。

●水平位置・垂直位置（パン・チルト）の調節

カメラの向きを右に移動

: (6) → (1) ~ (9) → (#)

カメラの向きを左に移動

: (4) → (1) ~ (9) → (#)

カメラの向きを上を移動

: (2) → (1) ~ (9) → (#)

カメラの向きを下に移動

: (8) → (1) ~ (9) → (#)

メモ

(1) ~ (9) はステップ数になります。押した数字ボタンのステップ分移動します。例えば (6) → (2) → (#) を押すと、2ステップ右に移動します。1ステップだけ移動する場合は、上下左右いずれかに移動するボタン ((6)、(4)、(2)、(8) ボタンのいずれか) → (#) で移動できます。ステップ数を指定する必要はありません。

●プリセット位置へ本機カメラの向きを移動

(1) → (1) ~ (8) → (#)

メモ

(1) ~ (8) はプリセット番号になります。押した数字ボタンのプリセット位置へカメラの向きが移動します。

●カメラの向きを対象のプリセット位置へ順番に移動（プリセットスキャン）

(1) → (9) → (#)

●本機カメラの向きを左右に移動（ワンタイムパン）

(1) → (0) → (#)

●明るさの調節

暗くする : (5) → (8) → (#)

明るくする : (5) → (2) → (#)

工場出荷時（「0」）の明るさにする

: (5) → (5) → (#)

●倍率の調節

拡大する : (3) → (2) → (#)

縮小する : (3) → (8) → (#)

等倍にする : (3) → (5) → (#)

●音声の通信モード切替

スピーカーモード : (0) → (3) → (#)

マイクモード : (0) → (1) → (#)

双方向モード : (0) → (5) → (#)

●マイク音量の調節

ミュート : (0) → (0) → (0) → (#)

ミュート解除 : (0) → (0) → (1) → (#)

大きくする : (0) → (2) → (#)

小さくする : (0) → (8) → (#)

●AUXの設定

High : (7) → (1) → (#)

Low : (7) → (0) → (#)

●ライブ画像／アラーム画像切り替え

ライブ画像に切り替え : (9) → (0) → (#)

アラーム画像に切り替え : (9) → (1) → (#)

次のアラーム画像へ : (9) → (6) → (#)

前のアラーム画像へ : (9) → (4) → (#)

DTMF一覧（つづき）

■アクセスレベルが「1.管理者」のみできる操作

●プリセット位置を登録

※ → 1 → (1 ~ 8) → #

メモ

1 ~ 8 はプリセット番号になります。押した数字ボタンの番号にプリセット位置が登録されます。

●音声モードを設定

ON : ※ → 0 → 1 → #

OFF : ※ → 0 → 0 → #

●端子アラームを設定

ON : ※ → 2 → 1 → #

OFF : ※ → 2 → 0 → #

●VMDアラームを設定

ON : ※ → 3 → 1 → #

OFF : ※ → 3 → 0 → #

●VMDエリアを設定

左上 : ※ → 3 → 2 → 1 → #

上半分 : ※ → 3 → 2 → 2 → #

右上 : ※ → 3 → 2 → 3 → #

左半分 : ※ → 3 → 2 → 4 → #

全体 : ※ → 3 → 2 → 5 → #

右半分 : ※ → 3 → 2 → 6 → #

左下 : ※ → 3 → 2 → 7 → #

下半分 : ※ → 3 → 2 → 8 → #

右下 : ※ → 3 → 2 → 9 → #

●VMD検出感度を設定

高 : ※ → 3 → 3 → 2 → #

中 : ※ → 3 → 3 → 5 → #

低 : ※ → 3 → 3 → 8 → #

●着信制限を設定

ON : ※ → 4 → 1 → #

OFF : ※ → 4 → 0 → #

●自動再発信を設定

ON : ※ → 4 → 2 → 1 → #

OFF : ※ → 4 → 2 → 0 → #

●設置状態を設定

卓上 : ※ → 5 → 0 → #

壁掛け : ※ → 5 → 1 → #

上下反転 : ※ → 5 → #

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	▶ 後面の電源プラグ入力に、ACアダプター(付属品)は根元までしっかりと差し込まれていますか?	12
	▶ ACアダプターの電源コードが、コンセントに確実に差し込まれていますか?	—
LEDが点滅している	▶ パワーLED(緑) はFOMA端末から本機にアクセス中に点滅します。 状態表示LED (赤) はバージョンアップ中に点滅します。	12
FOMA端末と接続できない	▶ カード型FOMA端末が、本機のCFカードスロットに正しく挿入されていますか?	14
	▶ カード型FOMAが、異常状態になっていませんか? カード型FOMAのLED表示を確認してください。 (カード型FOMAのLED表示については、カード型FOMAの取扱説明書をお読みください)	—
	▶ FOMA端末または本機のある場所が、FOMAサービスのエリア外、または電波の届かない場所にありませんか?	—

4

その他

故障かな!?(つづき)

4
その他

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>FOMA端末からの発信時に、本機に接続できない</p>	<p>FOMA端末から「TV電話発信」でかけていますか？ ※「音声電話発信」でかけた場合は接続できません。</p>	<p>—</p>
	<p>本機の「着信制限」設定が「ON」に設定されていませんか？ 「ON」に設定されている場合は、次の点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FOMA端末の電話番号が本機の電話帳に登録されていますか？ ● FOMA端末の発信者番号通知設定が「非通知設定」になっていませんか？ 	<p>WV-NM210F 取扱説明書 応用編</p>
	<p>本機が設定中、TV電話中ではありませんか？ しばらくしてから再度発信してください。</p>	<p>—</p>
<p>本機からのアラーム発信時に、FOMA端末と接続できない</p>	<p>アラーム通知方法が「TV電話発信」に設定されていますか？ また、アラーム端子が正しく接続されていますか？</p>	<p>—</p>
<p>FOMA端末からDTMF信号を使って本機の操作ができない</p>	<p>FOMA端末のDTMF送信機能は有効になっていますか？</p>	<p>—</p>
	<p>操作側のFOMA端末のアクセスレベルは「2.カメラ制御」または「1.管理者」に設定していますか？ アクセスレベルが「3.ライブ画表示」の場合は、FOMA端末からの操作ができません。</p>	<p>WV-NM210F 取扱説明書 応用編</p>
	<p>FOMA端末、または本機の周囲が騒がしくありませんか？ 周囲が騒がしい場合、DTMF操作ができない場合があります。</p>	<p>—</p>

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
FOMA端末でアラーム画像が表示できない	<p>接続しているFOMA端末は、アラーム発信先として本機に登録されていますか？</p> <p>アラーム画像を表示できるユーザーは、アラーム発信先として登録されたユーザーに制限されます。</p>	WV-NM210F 取扱説明書 応用編
FOMA端末と接続中に、画像にノイズが入る	<p>本機またはFOMA端末の電波レベルが弱くありませんか？</p> <p>電波状態が悪い場合、画像にノイズが入ることがあります。</p> <p>移動中に携帯電話を使用している場合も画像にノイズが入ることがあります。</p>	-
画像がぼやけている	本機のドームカバーが汚れていませんか？	-
	本機が被写体から70 cm以上はなれていますか？	-
FOMA端末で接続中に、本機からの音声聞こえない	本機の「音声モード」は「ON」に設定されていますか？	WV-NM210F 取扱説明書 応用編
	FOMA端末が「マイクモード」または「双方向モード」になっていますか？	19
	「マイク音量」が「ミュート」になっていませんか？	WV-NM210F 取扱説明書 応用編

故障かな!? (つづき)

症 状

原 因 ・ 対 策

参照ページ

FOMA端末と接続中に、本機に接続したスピーカーからFOMA端末の音声聞こえない

▶ 本機の「音声モード」は「ON」に設定されていますか？

WV-NM210F
取扱説明書
応用編

▶ FOMA端末が「マイクモード」になっていませんか？

19

▶ ステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカーが接続されていますか？

—

▶ 音声出力ジャックにプラグがしっかり挿入されていますか？

—

▶ 音声出力ジャックに挿入されているプラグがモノラルタイプではありませんか？
音声出力ジャックはステレオプラグ対応のため、モノラルプラグはステレオプラグへの変換プラグを使用してください。

—

携帯用DTMF一覧 (切り取ってお使いください)

重要!

着信制限が「ON」のときは、アクセスレベルが「2.カメラ制御」以上に設定されている電話番号のFOMA端末からのみ操作できます。着信制限が「OFF」のときは、電話番号を登録していないFOMA端末からも本機を操作できます。

● 水平位置・垂直位置（パン・チルト）の調節

カメラの向きを右に移動

: (6) → (1) ~ (9) → #

カメラの向きを左に移動

: (4) → (1) ~ (9) → #

カメラの向きを上を移動

: (2) → (1) ~ (9) → #

カメラの向きを下に移動

: (8) → (1) ~ (9) → #

メモ

(1) ~ (9) はステップ数になります。押した数字ボタンのステップ分移動します。例えば (6) → (2) → # を押すと、2ステップ右に移動します。1ステップだけ移動する場合は、上下左右いずれかに移動するボタン ((6)、(4)、(2)、(8) ボタンのいずれか) → # で移動できます。ステップ数を指定する必要はありません。

● プリセット位置へ本機カメラの向きを移動

(1) → (1) ~ (8) → #

メモ

(1) ~ (8) はプリセット番号になります。押した数字ボタンのプリセット位置へカメラの向きが移動します。

● カメラの向きを対象のプリセット位置へ順番に移動 (プリセットスキャン)

(1) → (9) → #

● 本機カメラの向きを左右に移動 (ワンタイムパン)

(1) → (0) → #

● 明るさの調節

暗くする : (5) → (8) → #

明るくする : (5) → (2) → #

工場出荷時 (「0」) の明るさにする

: (5) → (5) → #

● 倍率の調節

拡大する : (3) → (2) → #

縮小する : (3) → (8) → #

等倍にする : (3) → (5) → #

● 音声の通信モード切替

スピーカーモード : (0) → (3) → #

マイクモード : (0) → (1) → #

双方向モード : (0) → (5) → #

● マイク音量の調節

ミュート : (0) → (0) → (0) → #

ミュート解除 : (0) → (0) → (1) → #

大きくする : (0) → (2) → #

小さくする : (0) → (8) → #

● AUXの設定

High : (7) → (1) → #

Low : (7) → (0) → #

● ライブ画像 / アラーム画像切り替え

ライブ画像に切り替え : (9) → (0) → #

アラーム画像に切り替え : (9) → (1) → #

次のアラーム画像へ : (9) → (6) → #

前のアラーム画像へ : (9) → (4) → #



携帯用DTMF一覧（つづき）

■アクセスレベルが「1.管理者」のみできる操作

●プリセット位置を登録

※ → 1 → (1 ~ 8) → #

メモ

1 ~ 8 はプリセット番号になります。押した数字ボタンの番号にプリセット位置が登録されます。

●音声モードを設定

ON : ※ → 0 → 1 → #

OFF : ※ → 0 → 0 → #

●端子アラームを設定

ON : ※ → 2 → 1 → #

OFF : ※ → 2 → 0 → #

●VMDアラームを設定

ON : ※ → 3 → 1 → #

OFF : ※ → 3 → 0 → #

●VMDエリアを設定

左上 : ※ → 3 → 2 → 1 → #

上半分 : ※ → 3 → 2 → 2 → #

右上 : ※ → 3 → 2 → 3 → #

左半分 : ※ → 3 → 2 → 4 → #

全体 : ※ → 3 → 2 → 5 → #

右半分 : ※ → 3 → 2 → 6 → #

左下 : ※ → 3 → 2 → 7 → #

下半分 : ※ → 3 → 2 → 8 → #

右下 : ※ → 3 → 2 → 9 → #

●VMD検出感度を設定

高 : ※ → 3 → 3 → 2 → #

中 : ※ → 3 → 3 → 5 → #

低 : ※ → 3 → 3 → 8 → #

●着信制限を設定

ON : ※ → 4 → 1 → #

OFF : ※ → 4 → 0 → #

●自動再発信を設定

ON : ※ → 4 → 2 → 1 → #

OFF : ※ → 4 → 2 → 0 → #

●設置状態を設定

卓上 : ※ → 5 → 0 → #

壁掛け : ※ → 5 → 1 → #

上下反転 : ※ → 5 → #

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このネットワークカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4

その他

修理を依頼されるとき

25～28ページに従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、ACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記、修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	ネットワークカメラ
品番	WV-NM210F
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-NM210F
	販売店名	電話 () -				

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410